

おおさか創造千島財団 助成申請フロー

当財団の助成公募にはじめて応募する人のため、申請から活動を終えて報告書を書くまでの流れを紹介します。

助成申請までの準備

1. まずは企画書を書いてみる。
 - > 自分の頭を整理するためにも、一回、企画書を書いてみるのがコツです
 - > 「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「どのように」行うのか、「なぜ」いまその企画なのか、具体的に考え、言語化していきましょう
 - > 活動が社会に対してどのような意義をもつのか、公共的な視点での記述も必要です
 - > 企画の実現に向けた協力者を集めましょう
2. 収支バランスを検証し、申請書に記入。
 - > 周囲の人に企画書を見せて客観的な意見を聞くのがオススメです
 - > 活動を実施するのに必要な情報をリサーチし、できる限り現実的な予算を立てましょう
 - > 活動が目指すことを申請書内で効果的にアピール。具体的な表現を心掛けましょう
 - > 助成相談会などをうまく活用して、内容をブラッシュアップ
3. 期日までに申請書類を提出。
 - > 締め切りは例年 1 月上旬。時間に余裕をもって準備しましょう
 - > プロフィールや活動実績、企画書など、添付資料の準備も忘れずに

活動実施までの準備

4. 助成の結果発表を待ちましょう。
 - > 採択されていたら、財団との面談で助成交付の詳細を確認
 - > 残念ながら不採択の場合も、その分予算や規模の見直し等を行い、実施につなげましょう
5. 活動に向けた準備、広報はじっくりと。
 - > 当財団の助成事業は、活動実施前の助成金交付が可能です
 - > 実施内容を調整し、無理のない予算を組み直しましょう。
助成申請時から内容に変更がある場合は、財団にも報告してください
 - > チラシの制作・配布、WEB ページや SNS などで広く告知しましょう

活動の実施

6. 準備を整え、本番を迎えましょう。
 - > 本番の記録（撮影・録音）を行い、かかった費用を把握・管理しましょう
7. 忘れないうちに、活動報告書をしっかり作成。
 - > 活動に対して、客観的な考察・反省点を洗い出し、次に繋げましょう
 - > 活動終了後、2 か月以内に報告書を提出、財団と面談を行います